



平成 30 年 7 月 9 日

各位

会社名 株式会社ラクト・ジャパン  
代表者 代表取締役社長 三浦 元久  
(コード：3139 東証第一部)  
問合せ先 IR部長 分銅 健二  
(TEL. 03-6281-9752)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 7 月 9 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 1 月 12 日に公表した平成 30 年 11 月期第 2 四半期累計期間の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想数値の修正について

平成 30 年 11 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日）

	売上高 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に帰属 する四半期純利益 百万円	1株当たり 四半期純利益 円
前回発表予想（A）	53,000	1,200	830	169.65
今回修正予想（B）	59,160	1,130	735	150.23
増減額（B-A）	6,160	△70	△95	
増減率（%）	11.6	△5.8	△11.4	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 29 年 11 月期第 2 四半期）	46,478	1,772	1,200	245.52

平成 30 年 11 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日）

	売上高 百万円	経常利益 百万円	四半期純利益 百万円	1株当たり 四半期純利益 円
前回発表予想（A）	45,000	1,100	750	153.30
今回修正予想（B）	50,740	980	630	128.77
増減額（B-A）	5,740	△120	△120	
増減率（%）	12.8	△10.9	△16.0	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 29 年 11 月期第 2 四半期）	38,540	1,649	1,113	227.74

## 2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期）の売上高は、国内生乳生産量の減少傾向を背景とする輸入乳製品原料の堅調な需要が継続したこと、前年度に国内脱脂粉乳不足のため政府による複数回に渡る追加輸入入札が実施され、そこで落札した商品の販売が進捗したこと、また昨年末から年初にかけての乳製品原料相場安と円高の進行に伴い、顧客が原料手当てを前倒しする動きが強まったことにより、大きく伸張しました。

経常利益においては、当第2四半期の為替相場が円高に進行したことに伴い、為替ヘッジ効果による為替差損が営業外損失として先行して計上されました。また、旺盛なチーズ需要に対応するため、原価の高い手持ち在庫から販売を行ったことや比較的利益率の低い商品の販売が進みました。

以上のことから、平成30年1月12日公表の第2四半期の業績予想を上記のとおり修正いたしました。

一方、下期の売上高について、前述の政府による脱脂粉乳の追加輸入の結果、足元の不足感はいったん解消され、需要は落ち着くことを予想しております。また下期の経常利益は、チーズ事業における市況上昇に伴う利益率の改善や供給に余力のできた利益率の高い乳脂肪原料の販売増加により、改善を見込んでおります。

以上のことから、通期予想については平成30年1月12日公表の通期業績予想を据え置いております。

\*上記の業績予想は、本資料作成の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上